



貧困問題、「関係ない」 そう思っていないませんか？

日本でも貧困が深刻化!?

●貧困の種類

■私たちが真っ先に想像する貧困、「**絶対的貧困**」
衣食住といった必要最低限の生活水準が満たされていない状態(世界で6人に1人)

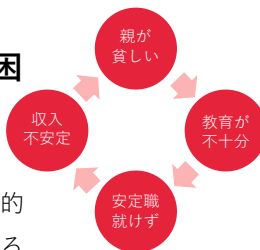
■国の豊かさに関わらず発生する、「**相対的貧困**」
周りの人と比べて貧しいと感じる状態
日本では…… 相対的貧困の割合



30人のクラスがあったら、そのうち4人は貧困かも

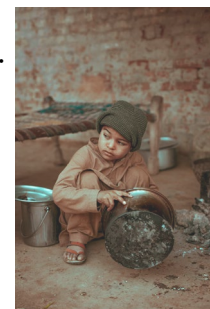
●連鎖する貧困

■貧困の影響は
子どものほうが
受けやすく、絶対的
貧困で暮らしている
7億960万人のうち、約半数が子供
■学習や進学機会を喪失し、低賃金の不安定な職に就かざるをえないため、
その子供も貧困に陥る
世代を超えた貧困の連鎖が続いてしまう



●貧困の原因

- 紛争や自然災害により、十分な水や食料を確保することができない
- 病気や事故による失業、配偶者・扶養者の死亡、父子・母子家庭
- 医療・福祉、教育などの**制度が十分に整っていない**
- 貧困に対する**人々の理解不足**が経済格差の拡大を招く



※1

国・地域・企業・NPO団体の取り組み

■**農業・農村開発** (世界の貧しい人の大多数は農村地域に住んでいる)

効率的かつ持続可能な、災害に負けない強靱な農業の発展・食糧の確保を支援

■**幼児教育の段階的無償化、高校・大学の奨学金給付、職業訓練サービスの提供**
十分な教育を受けることができるようにするための支援を行うことで、幅広い分野での就業の可能性を高め、「**貧困の連鎖**」を断ち切る

■**啓発イベントの開催、支援地訪問ツアーの実施**

国内で貧困に関する教育を行ったり、直接支援地に赴き、自らの目で世界の現状を理解するためのツアーを実施したりすることで、人々の貧困に対する問題意識を高める

■**子ども食堂**

子どもが一人で行ける、無料または低額の食堂(大人も利用可能)
お腹を空かせた子どもたちへの食事提供、孤食の解消、地域交流の場としての役割

■「**TABLE FOR TWO プログラム**」

先進国でヘルシー食品を購入すると、1食につき20円の寄付金が、発展途上国の子どもたちの給食となって提供される仕組みで、先進国・発展途上国、両方の国民の健康の改善が期待できる

私たちができること

●知る・教える・やってみる

■**ボランティアへの参加**

子どもたちの学習会・子ども食堂の手伝いや、発展途上国を訪問するツアーへの参加、啓発イベントの参加など(講師側でも受講者側でもOK)。現状の理解・発信の代表例です。

■**気候変動に対する取り組み**(気候変動は発展途上国の食糧・水の確保などに悪影響を及ぼす)
節電・節水、食品ロスの削減、マイバッグ・マイボトルの利用など。関係ないように見えても、SDGsに貢献。

■**おにぎりアクション**

世界食料デー(10月16日)にSNSにおにぎりの写真を投稿することで、協賛企業から発展途上国に給食が寄付される取り組み。(2022年は開催期間10/6~11/6)

■**フェアトレード商品や寄付つき商品の購入**

Q.フェアトレード商品とは?
A.適正な価格で取引された発展途上国の原料や製品のことで、右のマークが目印。



※2



※3

●募金

■**日本ユニセフ協会**

「すべての子どもの権利が実現される世界」を目指した活動をしていて、知名度も高いから安心

■**あしなが育英会**

やさしさの連鎖を世界中に広げながら人間の尊厳が脅かされることのない社会を目指していて、寄付の使い道を指定できるのが特徴

■**カタリバ**

安心できる居場所の提供、学習支援、食事支援、災害時の居場所の提供や探求学習の実践支援などの活動



42円で、子供が一人救えます。

※開発途上国の子どもの命を奪う主な病気の1つ、はしかから子どもを守るための予防接種用ワクチン1回分